

# 紅萌会会報

第41号

平成30年4月12日

天王寺高等学校  
同窓会事務局  
京都市北区上賀茂神山  
240-2 中村 善人 方  
発行人 遠藤清茂  
編集人 古村成正

今年と同窓会総会は

## 5月20日(日)

あべのハルカス

### 「桃谷楼」で開催

#### 第64回総会のご案内

日時 平成30年5月20日(日) 午後1時開会  
12時30分受付開始。会場の使用時間が限られているため、早めにご来場ください。

会場 中国料理「桃谷楼」(とうこくろう)  
あべのハルカス近鉄本館タワー館  
あべのハルカスダイニング 13階  
TEL.06 - 6625 - 2373

参加費 5,000円  
総会参加費 5,000円+  
同窓会年会費 1,200円=6,200円  
同封の振込用紙を使って振り込んでください。  
この振り込みをもって正式な総会参加申し込みとします。なお、当日不参加の場合、参加費は返金できませんので、あらかじめご了承ください。

申込締切日 5月13日(日)  
会場準備の都合上、総会参加者は5月13日までに6,200円を振り込んでください。総会に参加されない方も、年会費1,200円の振り込みをお願いします。また、これらに加えて寄付金の方もよろしくをお願いします。なお、総会への出欠にかかわらず、同封のハガキであなたの近況や同期会情報、同窓会運営に対するご意見・ご要望などを記入のうえ返送してください。

#### — プログラム —

総会開会 午後1時  
会長あいさつ  
平成29年度事業・決算報告  
平成30年度予算案  
役員・幹事選出  
総会閉会  
懇親会開宴  
乾杯  
スピーチ・アトラクション  
散会 午後3時

現在の紅萌会に、当時の若さはなく、それだけに燃え立つような熱いエネルギーを求め、は無理かもしれない。しかし、同窓会の継続・隆盛を望む気持ちに変わりはなく、卒業期より幅広い卒業期、より若い人たちが運営メンバーに加わり、紅萌会の一層の隆盛に尽力されることを期待したい。

### もう一度40年前の熱いエネルギーを呼び起こし 同窓会の隆盛に向けて力強い一歩を踏み出そう!

天王寺高校定時制課程同窓会の歴史は昭和30年2月

昭和53年12月2日、新生「紅萌会」誕生  
昭和54年4月15日、「紅萌会々報」創刊

いま、編集子の手もとに「紅萌会会報」創刊号がある。当時のタイトルは「紅萌会々報」で、日付は昭和54年4月15日となっている。現在の会報とは比較にならない粗末なものだが、そこには脈々と続いてきた紅萌会活動の原点が詰まっている。「初心忘れるべからず」とは時の人・将棋棋士の羽生善治永世七冠が好んで口にする言葉だが、われわれももう一度原点に立ち返り、同窓会のあり方を見直す時期にさしかかっているのではあるまいか。

26日、61名の第1期生卒業とともに始まった。それから63年、その歴史と伝統は連綿と受け継がれ、年ごとに輝きを増しつつ今日に至っている。

もう一つ、忘れてならないのが第2の誕生日、「紅萌会」の発足である。昭和53年12月2日、33名の役員・理事・会員が集まり開催された第7回拡大理事会において、新たな同窓会がスタートするに際して名づけられた名称である。そして昭和54年2月3日

#### 同総会再興へ30名の有志が立ち上がった あの日の情熱をいま一度燃え立たせよう!

それに先立つ昭和53年5月24日のナンバ大天閣、その日の記憶がまざまざと蘇ってくる。活動が停滞していた同窓会を再興し、3年後に控えた母校創立30周年事業を成功させようと有志が立ち上がり、広く呼びかけたところ約30名の同窓生が集まった。30歳代が中心の、同窓会再興の意欲に燃えたメンバーのエネルギーは熱かった。以後、今はない天王寺高校旧校舎の会議室で月に一度の理事会を開催し、着々と今日の同総会運営の礎を築き上げた。

の第8回理事会において、「紅萌会ニュース」の発行が決定され、同年4月15日に「紅萌会々報」創刊号発行の運びとなった。以後、ほぼ年1回のペースで発行し続け、今回で41号を重ねたことに深い感慨を覚えずにはられない。



# ご挨拶

紅萌会会長 遠藤 清茂

紅萌会会員の皆様には、  
ますますご健勝の事とお喜  
び申し上げます。平素は紅  
萌会活動にご支援・ご協力

## 天王寺高校校歌

- 一 おもえば遠し 桃蔭の  
花咲きかおる その日より  
明るくひらく 文化の園生そのお
- とわにかわらぬ 心のふるさと  
仰げ若人 ああ 天王寺
- 二 あふれてやまぬ 城南の  
泉の水は あめつちに  
ひろがりしみる 真実まこととえい智ち  
不朽ふくゆうをほこる われらが校風  
たたえ若人 ああ 天王寺
- 三 まゆをあぐれば なかぞらに  
むらさきはゆる 生駒山  
希望のぞみは高く 世界の風に  
校旗はためく われらがまなびや  
うたえ若人 ああ 天王寺

\*紅萌会総会で斉唱したいと思います。  
出席者はこれをご持参ください。

を賜りまして、誠に有り難  
うございます。  
さて、一昨年は熊本大地  
震で損壊した家屋調査に現  
地へ赴きましたが、昨年は  
台風21号による災害対策に  
和歌山へ出向きました。現  
場の被害状況はすさまじい  
ものがあり、改めて天災の  
恐ろしさを痛感した次第で



第63回紅萌会総会は、昨  
年5月21日(日)午後1時  
から、あべのハルカス13  
階「桃谷楼」で39名の出席  
を得て開催されました。毎  
回ご出席いただいている岡  
(三元)校長先生は急用のた  
め欠席されましたが、今回  
は三上先生と東先生にご出  
席いただきました。  
総会は遠藤会長の挨拶の  
あと議事に入り、平成28年  
度事業・決算報告および平  
成29年度予算案を審議し、

す。備えあれば憂いなしと  
いう言葉もあるように、い  
つ起こるか分からない災害  
に備え、皆様も普段から十  
分に備えておいていただき  
たいと思います。

話は変わ  
りますが、  
毎年4月半  
ばに役員・  
幹事が集ま  
り、母校の  
定時制資料  
室で行って  
いる「紅萌  
会会報」の  
発送作業の  
模様をご紹



介します。その折には資  
料室の掲示板の修正も行  
っています。皆様も一度  
足を運んで、資料室に保  
管されている母校での思  
い出の数々に触れてみて  
はいかがでしょう。お待  
ちしております。  
最後になり  
ましたが、会  
員皆様方の御  
健康・ご多幸  
をお祈り申し  
上げまして、  
ご挨拶とさせ  
ていただきます  
。

## 第63回紅萌会総会報告

### 東先生・三上先生を囲んで

### 楽しいひと時を過ごしました

幹事 中村俊之

満場一致で承認されまし  
た。続いて役員・幹事の選  
出に移り、会長に遠藤清茂  
(22期)、副会長に中村善人  
(18期)、幹事に古村成正(7  
期)・中村俊之(10期)・山  
本眞子(26期)・山崎恭子  
(27期)と6名全員の留任  
が決まり、引き続き紅萌会  
の運営に当たることになり  
ました。

この後、中村副会長が会  
員数の動向や同期会への原  
稿依頼について説明。同期

会に対しては各期それぞれ  
任意に抽出した会員に原稿  
依頼し、7つの期から寄せ  
られた旨の報告がありまし  
た。

懇親会は東先生の乾杯の  
ご発声で始まりました。ち  
なみに出席者は18期8名、  
27期5名、7期4名、21期  
3名、3期・16期・19期・  
22期・26期各2名、1期・  
10期・11期・12期・20期・  
23期・32期各1名でした。

前回の50名に比べると11

名の減少となりましたが、  
三上先生・東先生を中心に  
各テーブルとも期を超えて  
交流、懇談に花が咲き大い  
に盛り上がりました。

盛況のうちに閉会の時を  
迎え、全員で校歌を斉唱し  
たのち、三上先生のご発声  
でお開きの乾杯を行い、名  
残を惜しみつつ散会となり  
ました。



## 友情のページ

昨年も先生方をはじめ、1期生から54期生まで多くの同窓生からお便りをいただきました。昭和30年以降、4,070名の卒業生を受け入れてきたわが同窓会も、今や消息が判明しているのは1,500名足らず。組織的には縮小する一方ですが、だからこそ同窓生同士の絆を一層強め、友情と親睦の輪をますます深めていかなければなりません。今年も、ぜひあなたの近況や同期会の情報、紅萌会に対するご意見などをお寄せください。お待ちしております。

(敬称略・順不同)



前回も大変楽しく、おかげで私も青春をとりもどしました！今回もいろいろな人との再来の再会を楽しみにしています！

三上敦史(特)

葉書の投函を忘れていました。3月に郷里(福井県)で小学校の同窓生と喜寿を迎えて来ました。天定の同窓会(紅萌会)総会も63回目を迎えました。幹事の方の御尽力で毎年会報を出していただき、会員の方々の消息

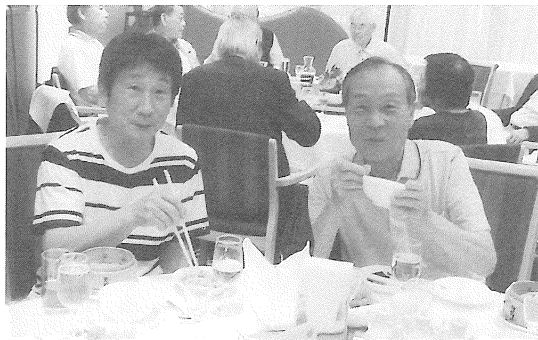
を知らせていただいています。今後とも同期会の様子や恩師からの消息などもいただき、幹事からの御要望も適えて、30期生以降の卒業生まで続けて下さい。

東庸太郎(特)

1年の約1/4は大連医科大学・南宋師大大学院へ出講したり、1/4は九州の山荘に逗留したり、2/4は芦屋の自宅ですごしたりしています。おかげ様で体調良好で方々へ出かけたリ、各種会合に参加したりしています。「3かく」を大切に皆様のご健康をお祈りいたします。

外園 一人(特)

後期高齢者となった私どもは、2020年の「東京オリンピック



ク」までは生きのびよう、と励まし合っています。しかし、あちこちで友人・知人の訃報を聞くことが多くなりました。阪神タイガースの天敵、巨人は「永

### 紅萌会ごぼればなし 「紅萌会」? 「紅萌会」? どっち?

「こうほうかい」という同窓会名は、大正8年に制定された旧制大阪府立天王寺中学校校歌を源流とし、戦後は歌詞が改作され「黄塵はるか」と改題された応援歌の一節「紅萌ゆる」から引用したものである。

その後、現在の『紅萌会会報』を創刊するにあたって、編集を担当したS理事とF理事との間で、「もえ」という文字を「くさかんむりに月2つ」の「萌」にするか、「くさかんむりに日月」の「萌」にするか、

るかで議論となった。どちらも同じ意味なのでどうでもよいような話だが、当時は二人とも若かったのでお互い引き下がりなまま印刷という段になり、印刷担当のS理事が有無を言わず「紅萌会々報」としてしまった。その名残で今も『紅萌会会報』となっているのはご承知のとおりである。

なお、一般的には「萌」が使われている。参考までに平成8年に発行された天王寺高校100年史「桃陰百年」を見ると、すべて「紅萌ゆる」となっている。「朋友」や「朋有り遠方より来る」といった「朋」が使われている「萌」か、「明るい未来」「明るい仲間」といった「明」が使われている「萌」か、さあ、あなたならどっち?

久に不滅です」などとバカなことを言っておりましたが、天王寺の同窓会も「永久に続く」とはありません。美しく歴史の闇の中に消えてゆくばかりです。

田中幸昭(特)

役員の皆様ごころう様です。会報ありがとうございました。元氣の出る写真やら近況、楽しく見せて頂きながら、訃報も複数あり時に流れを感じます。14期生、さびしくなりましたね。中川君の笑顔を想い出します。写真をもって帽子を冠っておられる方? どなたですか? い

会で沢山ご出席で、当会の支えになって下さって感謝です。

佐山 和子(特)

総会には出席出来ません。岡校長、東先生によりしくお伝え下さい。大迫は元氣です。

大迫 均(特)

総会、残念ながら出席出来ま

せん。年会費を引いた残余金は寄付とします。菅野 正(特)

いつも御連絡して頂き感謝しております。盛会を御祈りしております。宮野恭一(特)

現在、大阪樟蔭女子大学に勤めています。総会の日には仕事(オープンキャンパス)のため、欠席させて頂きます。美濃 幸男(特)

★出欠ハガキをくださった先生方 岡 毅、澤井 章、鈴木 正夫、中本律男

妻・壽美子(1期生)は本年1月に病没しました。同じ1期生として結婚後も苦楽を共にしてきましたが、病魔には勝てず82歳の生涯を終えました。同窓会の活動に積極的に協力することはありませんでしたが、長い間お世話になりました。現在、服喪中のため総会への出席を遠慮させていただきます。昨年にも増して盛会となることを期待しています。牛丸 剛(1)

第63回総会のご案内及び会報を頂きありがとうございます。少し体調をくずしており、総会



に出席出来ません。総会・懇親会の成功をお祈りします。中島 眞吉(1)

死亡 除名お願いします。中村二郎(1)

★出欠ハガキをいただいた1期生 宇野 功、高橋孝弘

いつもお世話になりました。今年都合で欠席します。盛会を祈ります。中川ヨシ子(2)

★出欠ハガキをいただいた2期生 埜村徳也

卒業後60年、同期生は本年度中に全員80歳以上になり、同期会の開催もむづかしくなりました。せめて紅萌会総会ででも会

いたいと思っておりますが、残念ながら同期生の出席が少ないのが現実です。幹事の皆様にはご苦労かけますが、今後もしっかりお願いいたします。吉田万弥(3)

いつもお世話になり、ありがとうございます。小西辰朗(3)

お世話様です。家内が認知症を患っていて、つねに目を離せません。週の半分はデータービスのお世話になっていますが、毎日ストレスとのたたかいです。総会は欠席しますが、会費を振込ませていただきましたので、よろしく願います。安田 壽夫(3)

お世話になっております。歩くことが不自由になり、参加できません。御盛会をお祈りします。会費は遅くなるかも知れませんが送らせて頂きます。山口 淳子(3)

元気でおります。菅原 博(4)

いつも紅萌会だよりを楽しみにしています。同期生の名前を見ると、生きている事が有難く思います。永田 満江(4・6期生)

①電気磁気学の学習歴(老年

期)をまとめました。構成は「何時、何処で、誰と、何を」となっております。②尿管がん、膀胱がんとなり闘病生活を続けております。③紅萌会の発展を祈ります。梶原文明(6)

クラスで春・秋と桜・もみじと電車での旅ですが、何年もまえば10人以上だったのが、今では4名です。足、体が自由にならない様です。赤川美津子(6)

残念ですが、私の頭の中から記憶が遠くなっています。皆様のご多幸をお祈り致します。岩崎みちよ(6)

いつもお世話下さりありがとうございます。昨秋に遅くきた2人目の孫に会え、少々張切ったのですが無理はダメ。いろいろの意欲が減退、何とか頑張っ



ていますが……。同期会のこと、又、皆様にお会い出来れば……とは思っています。1人ではどうにもならぬようです。植田初世(7)



いつもお世話有難うございます。昨年は片山君、又、今年3月には前田充弘君も亡くなり、淋しい限りです。今年は一人ですが、3年振りに出席させて頂きます。田辺 幸至(7)

会報ありがとうございます。会費は別便にて送らせて頂きます。総会が盛大に行われる事を御祈りしています。庭瀬 玉江(7)

★出欠ハガキをいただいた7期生 森村不二子

いつもお世話になりました。ありがとうございます。そして御苦労様



です。伊勢志摩サミットから一年、すっかり静かになりました。海と山が前後にあり、わずかばかりの菜園と花が咲くのが楽しみに忙しい毎日です。参加させてもらえませんが、よろしくお願ひ致します。 浜野弘美(8)

会には出席出来ませんが、会費だけ送ります。8期生少ないですね。 合羽文字(8)

最近では寄る年波に勝てず、活発な動きも影をひそめてしまい、仕事の休みの時は、横になつている時間が多くなつてきました。そのためか、司法書士業務も、リニアカーの問題解決委員も、いつまで続けられるのか、真剣に考えねばならない今日こ

の頃です。ただ、ありがたいことに、足腰はまだ達者で毎日通勤はしています。天王寺高校を卒業して56年にもなりましたが、まだまだ思い出はたくさん覚えています。その時の「日記帳」も残っており、時々読み返しては、一人唄んでおります日々です。 赤松泰雄(9)

毎年、紅萌会の運営にご尽力を賜わり、有り難うございます。感謝申し上げます。今年も総会には参加できませんが、ご盛会をご祈念申し上げます。今月4月16日から2泊3日で、妻と共に南東北方面へ花見の旅をしました。1日目は花見山公園で桜コブシ、花桃等に堪能し、2日目「三春の瀧桜」に感動しました。3日目「会津若松城」の天守閣からの桜を観て、殿様気分を味わいました。結婚48年、夫婦で旅行出来る事を感謝しております。会費と共に少額を振り込ませて戴きました。残は雑費に充当して下さい。同窓会諸兄のご多幸、ご健康、そして「紅萌会」のご発展を心より祈っております。 幸野陸紀(9)

お世話頂き誠に有り難うございます。 塩野光子(10)

10期会は3月に開催予定でしたが、開催されません。復活することを期待します。

巳本 稔(10)



紅萌会欠席します。お世話に成って有難うございます。感謝しています。 伊藤清美(10)

★出欠ハガキをいただいた10期生 丸木金勝、金井弘子

11期生の出席がいつも悪い。私も体調がいまいちです。高齢化も一つの原因でしょうが、段々と連絡がつき難くなっています。懐かしい青春時代を過ごした思い出が一杯です。5人の同窓生と連絡を取り合っています(賀状の交換+a)。本日、年会費をまとめて1万円振り込みました。役員の皆様にはお世話を掛けっぱなしで申し訳なく思っています。遠藤会長が後輩とは思ってもしていませんでした。すぐ近所ですので!

木林清治郎(11)

【事務局より】体調がよければ、5人で誘い合って総会に出かけてみませんか。また、総会でなくても、ぜひ定期的に会って同期会へと発展させてください。11期生の名簿が必要であれば、事務局の方へ請求していただければ対応します。

いつもありがとうございます。 林清太郎(11)

林清太郎(11)

今回出席したかったのですが、シアトルにいる叔母が亡くなり、東京に行く事になり行けなくなりました。又の機会に出席したいと思えます。

長谷川三枝子(11)

★出欠ハガキをいただいた11期生 鳥袋征士

今年の紅萌会会報には、残念ながら12期生の同窓会は載りませんでした。栢木先生にも参加してもらって、西村宅で12人の参加で今年も有志の同窓会をやりました。来年もできればいいですね。 西村唯弘(12)

12期会の皆さん、元気ですか? 卒業してから50年になります。今でも皆さん1人1人の顔を覚えていてます。楽しい4年間でした。僕の頭にある皆さんはいつこう年老いていません。僕も20才の気分です。皆さんの元気な声を会報の上でも聞きたいな。 阿部博(12)

参加出来ませんが、いつもお世話ありがとうございます。 蒲原千鶴子(12)

蒲原千鶴子(12)

★出欠ハガキをいただいた12期生 石橋千加子

石橋千加子

いつも会報をありがとうございます。私は今、大阪府高齢者大学校に週一回通っています。今年で5年目となり、同じ年代の方々と楽しく学んでいます。歴史、語学、音楽、カメラ、絵画etcと60科目もあり、好きな科目を選んで学びます。皆様もいかがですか。 喜多俊子(13)

同窓会には、約30年以上出席しておりません。また、これからは出席するつもりはありませんので、紅萌会たよりその他のたよりも一切不要です。勝手ながら、私の名前を同窓会名簿等より除いて下さい。 橋本宏(13)

橋本宏(13)

昨年5月、住居が移転しました。今後、下記新住所にお願い致します。 大森一雄(13)

毎年「天高の証し」ありがとうございます。 北嶋順子(13)

北嶋順子(13)

総会には参加できませんが、会費は久しぶりに送金させていただきます。 笠原之治(13)

笠原之治(13)

★出欠ハガキをいただいた13期生 三井郁子

三井郁子

いつもお世話になります。会

報、楽しく読んでます。ありがとうございます。ありがとうございます。

木下美佐子(14)

毎年、会報ありがとうございます。私も古希を迎え、時の流れの速さに改めて年齢を自覚せざるを得ません。これからは毎日を大切に、平凡に生きて行けたら幸いです。皆さまのご健康をお祈り致します。

門脇千鶴(14)

四月になると紅萌会会報を読み、学生時代を思い出します。各人はそれぞれ仕事をしながらガンバリましたね。今69歳の初老は、日々の時間割を大事にしなければならぬと、楽しんでおります。

中村棟治・ひろみ(14)



会報ありがとうございます。10年振りにリツオさん(生徒)はどうしては中本先生のことをこう呼び交わしていました(の)写真、懐かしく拝見しました。今後共、先生の消息を楽しみにしています。杉山可一(14)

大変残念ですが、5月第3日曜日は会議のため欠席致します。会報いつもありがとうございます。今回は特に中本律男先生の近況を知ることができました。と、大変嬉しく思います。私達の学年の担任をしてくださいっていただきましたので、どうしていらっ

しゃるか期の同窓会の度に話題になっていました。また、この三月に上野先生にお会いすることができました。元気である、いいことありますね。役員の皆様のご健康をお祈り致します。

吉田千鶴子(14)

いつもお世話になりありがとうございます。西田正雄(14)

★出欠ハガキをいただいた14期生 岩佐勝巳、大江道子

紅萌会会報第40号を受け取りました。毎回、楽しみにしております。今回「編集後記」に、想像以上の御苦労をお掛けしていることに感謝の思いでいっぱい。本当に素晴らしい会報にして頂きありがとうございます。『永遠のために継続』の方々



を私からも御願ひ申し上げます。

前川 栄(15)

いつも会報を送って頂きありがとうございます。

平岡朱実(15)

紅萌会の発展、役員皆様の長寿、健康を祈念します。

江口 繁(15)

役員のみなさま、ご苦労様。

脇 豊茂(16)

会報お送り頂きましてありがとうございます。他の行事と重なり、欠席させて頂きます。お世話して頂いている方には感謝、感謝です。

川村光子(16)

今回も病後と都合で欠席させて頂きます。紅萌会の発展を願っています。矢田博道(16)

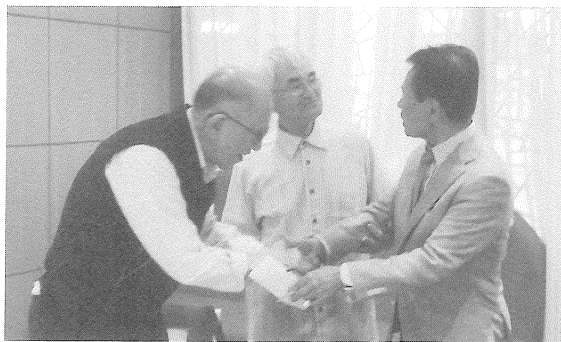
いつもお世話ありがとうございます。今回は母の介護で過しています。

森本登茂子(16)

★出欠ハガキをいただいた16期生 吉本摩佐子

中本律男先生に会いたいですね。希望者でお願いしますか？宿題を出して「答は1だから」と言われたあのニクイ顔、忘れられません。その「1」がひねり出せない！苦しめられました。坂本つよみ(18)

役員の皆様、いつもありがとうございます。今年春、東住吉区に転居しましたのでよろしくお祈り致します。40数年ぶりの近鉄南大阪線！天高のあった



河堀口駅！当時のことが懐かしく思い出されました。今年も出席させて頂きます。皆様にお会いできること、楽しみにしております。同期会もまた開催してほしいです。よろしくね!!

神村順子(18)

1年たつのは早いねえー。今年会報が来るのが楽しみです。今年も行こうぞー!!

大西吉雄(18)

いつも大変お世話になります。今年も参加させていただきます。宜しくお願いします。

細川正敏(18)

役員の皆様、ほんとに御苦労様です。先月(3月末)、知人のお見舞いのため20年ぶりに上阪することとなり、あべのハルカス60Fからの夜景に感動したところです。今年も同窓会へは参加できませんが、もう一度あべのハルカスへ(同窓会で)行きたいと思っております。

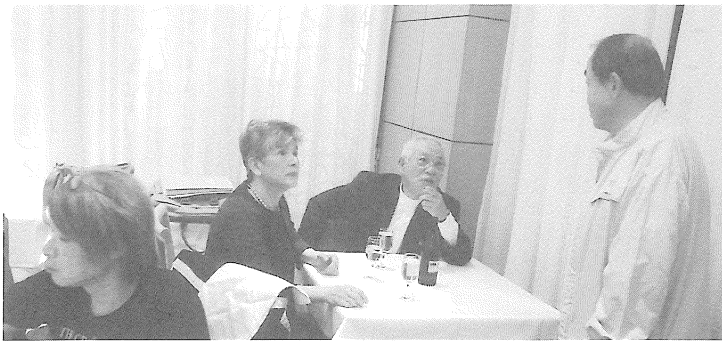
仲西三枝子(18)

18期生ですが、井上伊津子さんしか知りません。高3で転入し、バレーボールクラブに入りましたがなじみなく、一人ぼっちでした。でも、天高に通った思い出だけはかなしくも有り、うれしくも有り、顔見知りになると喜びに変わる多感な思いがありました。会報もうれしく見

させて頂いております。43年連れ添った夫に先立たれ、再婚し、今は京都に身を置いて居ります。今後共、皆様の協力のもと会報をお願ひする共に、御健康をお祈りします。

川島(旧姓金内) 英美(18)

昨年はこのはがきに、ありがとうと書くのが精いっぱいでしたが、42年連れそった夫が旅立ち2年になるので、少しずつ元気を取りもどしております。みんなより5年遅く天高に入学したので古希になります。みんな万博にも行きましたよね。会報で中本律男先生の近況が書



かれて、顔がバツと浮かんでおります。キンちゃんも元気そうだし、過ぎて見れば私の人生に天高での時間はしんどかったけど、最高の時間でした。

井上伊津子(18)

会報いつも楽しみにしています。役員さんは大変でしょうけど、いつまでも続けられる様にお願いします。

浦崎信子(18)

いつも会報ありがとうございます。毎年欠席しているんで、会報はこれを最後にしてください。いままでありがとうございます。会費も送金してこなかったで、今年、気持ちだけ送金させていただきます。

中井幸子(18)

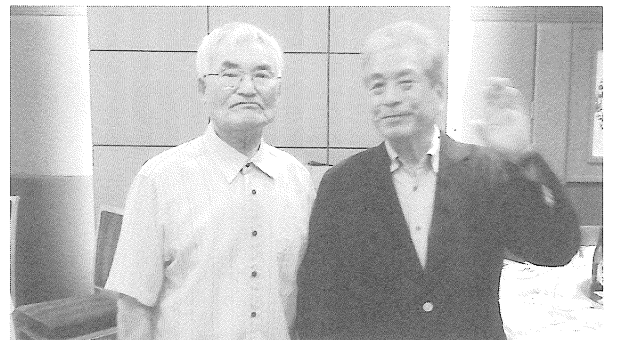
残念ですが今回は欠席させていただきます。皆様によりしくお伝えください。

岡崎しのぶ(18)

日々お忙しいなか、お世話頂きありがとうございます。再会を楽しみにしておりますが、仏事の為欠席致します。(同期会を楽しみにしています)

吉田由紀子(18)

いつも会報をお送り下さいまして有難度う御座居ます。残念ながら今年も出席出来ませんが、これからも紅萌会のご発展と、



皆様方の御健康と御多幸をお祈り致します。

岡村まゆみ(18)

参加費+年会費+寄付金です。少しですみません。お世話になります。

谷田和恵(18)

町会行事(婦人運動会)のため出席できません。欠席させていただきます。

小島悦子(18)

★出欠ハガキをいただいた18期生 稲葉貞夫、芳中則子

各期の数名をスタッフ登録して、会報や行事のお手伝いをしてもらえば、又、会合などで参加者を広げていく案を練り、同期の輪を広げていけばいいので

は。会報に企業広告を掲載することは難しいでしょうか。

小玉 光(19)

【事務局より】ご意見ありがとうございます。役員・幹事会の参考にさせていただきます。同窓会を存続するうえで、いま何よりも望まれるのは同期会の輪を広げることです。まだ同期会を開いていない期の皆さん、誰かが同期会をつくってくれるのを待つのではなく、自分から身近な人に声をかけて、まず2人からでも、3人からでも始めるようにしてください。

紅萌会会報をお送り下さりありがとうございます。第40号に同期生の名前をみつけると嬉しくなり、紙面の文章を読みながら、40年以上前の天高時代を懐かしく思い出しました。昨年は地域行事と重なり欠席しましたが、今年も孫の初誕生の祝会と重なり、またまた欠席します。役員の方々の熱き思いを、編集後記などで知ると欠席するのが本心に申し訳なく思います。申し訳ありません。

伊名岡百合子(19)

今回は大変残念ですが欠席させていただきます。年に一度の会を楽しみにしていたのですが、本年も盛会されることを御祈りいたします。

大西昭生・久美子(19・20)

★出欠ハガキをいただいた19期生 山坂成司

4月1日に天王寺バラタワー13Fスクール天王寺で、1時から行いました。13名集まりました。三上先生、村井先生も来ていただき、楽しかったです。来年も同日4月1日(日)バラタワー13Fで行う予定ですので、今からあけておいて下さいね。よろしくお祈りします。

浅井いずみ(20)

いつも会報ありがとうございます。感謝します。仕事の都合で今回も総会は欠席しますが、盛会をおいのりしております。

牧浦晴美(20)

会報の作成送付、有難うございます。今年は総会に出席させていただきます。同窓生の皆さんに会えるのを楽しみにしています。

井藤一夫(21)

いつもお世話になります。今年の総会は欠席させていただきます。年1回の集まりの準備も大変と思いますが、こうして開催のお知らせありがとうございます。少しですが切手代ぐらいのカンパです。頑張ってください。

野田さよ子(21)

同窓会の役員様には大変お世話になっております。いつもいつも会報ありがとうございます。







# 同期会 だより

今回は初めて50期という、きわめて若い卒業期の同窓生からお便りをいただきました。30～40期代からのお便りが1名だけなのは残念ですが、それにしても1955年卒業の大先輩から実に半世紀後の卒業生まで、こんなにも幅広い皆さんから消息が寄せられるのは、なんとも嬉しい限りです。特に6期から24期までほとんどつながったことは、同期会の将来が見えてきたようで、とても嬉しく思っています。これを機にもっと多くの期から、さまざまな声を積極的に寄せていただくことを期待しています。なお、今回もそれぞれの原稿に編集者が見出しをつけさせていただきます。ご了承ください。

## 3期

友人に恵まれたのが天高で一番の収穫  
80歳を過ぎても同窓への思いは不変です

私たち第3期生は、本年三月で卒業後61年経ち、全員が80歳以上になりました。

同期会は、平成24年11月に徳永先生、谷奥先生、栢木先生を迎えて、総勢23名で楽しいひと時を過ごしました。

その後、もう一度と思わぬこともなかったのですが、年齢的に世話をすることは勿論、出席することも無理

と思われる者が、多くなっているのが現実のような気がして実現していません。

私が天王寺高校で学んだことで就職に役立ったことは勿論ですが、一番良かったことは多くの友人が出来る友人の友人とハイキングや旅行等が出来たことです。

私は疎開先（山陰地方）の中学校を卒業して2年遅れで入学しましたが、当時の

職場では同世代の友人は全然居なかったもので、そのように感じました。

この年齢（80代）ですから、同期会を開催しない限り友人と会う機会は少なくなりましたが、現在でも10数人の同期生と賀状の交換をしています。

（吉田 万弥）

## 6期

音楽を聞いたりプールに通ったりして  
何とか元気に頑張っています

私は現在78才、体はまあまあですが、目の精密検査を受けた結果、白内障の始まりと診断されました。主に毎日放送ラジオを一日中

聞いているほか、テレビはNHKニュース、音楽はCD、新聞は読売新聞、運動は長居プールに行っています。

読書をしたいのですが、目がかすむので出来ません。一人住居ですので、ボケないように頑張っています。

（赤川 美津子）

## 1期

阿倍野の楓林閣に10名の一期生が集合！  
時を超えて打ち解け旧交をあたためました

二年前の紅萌会会報第39号（平成28年4月15日発行）紙上で、同期会開催の呼びかけをしました。その結果、中島真吉さんに世話を買ってもらった。平成28年7月に阿倍野の楓林閣で会合が開かれました。これは平成16年7月の第一回目、平成22年6月の第二回に続く第三回目の同期会（1期会）で、出席者は女性7名、男性3名の計10名でした。

顔触れは前二回とほぼ同じで、顔を合わせるのとすぐに打ち解けて旧交をあたためることができました。（一、二回目の報告は会報第39号参照）。昭和30年卒業の第一期生は、最年少でもいまは83歳になっており、物故者や病を抱えて苦しんでいる人が多いと聞いております。悪条件の中で10名の出席者があったことは喜ばしく、世話役の中島さんのご

努力に敬意を表します。

他の期に比べて1期会の開催回数は少ないのですが、ここに記した以外に、同窓会発足初期に記録に残らない女性だけの集いが数回催されており、懇親の目的は十分果たされていると思います。

あと一、二回は是非集まりたいですね。

（牛丸 剛）

## 7期

喜寿の祝を兼ねた同期会開催に向けて  
同窓会総会の席上で話し合おう！

7期生の卒業は57年前の昭和36年である。同期の集いはいろいろあるようだが、幹事役の尽力のお陰で行った還暦・古希の会もあった。最も若い7期生がそれに該

当する頃の開催で、多くの参加で賑わった。素朴な気持ちで4昔、5昔前の話題で楽しんだ。今以って大切な想い出が裏打ちされたようでもある。

一方で、多すぎる位の同期生の計報に接した。在校中も、それ以降も、度々一緒に行動した7名のグループのうち4名が鬼籍に入った（次ページ4段目につづく）

9期

## 9期生の皆さん、どうしておられますか？ ぜひあなたの元気な声を聞かせてください

天王寺高校 同窓会 紅萌  
会長の遠藤様から「同期  
会だより」への投稿の依頼  
を受け、拙い文ですが、筆  
を執りました。

天王寺高校を卒業して早  
56年を迎えました。当然な  
がら「後期高齢者の国民健  
康保険被保険証」を頂き、  
がつくりときています。

第9期の卒業生はずいぶ  
ん多くおられたように記憶  
しておりますが、さっぱり  
耳に入ってきてません。みん  
な元気にやっているのかな  
あ。

毎年頂く会報には、他の  
同期会の集まりのお話が掲  
載されており、にぎやかな  
雰囲気伝わってきます。

当時、よく出席をとって  
いた関係から、今でもあい  
うえお順になまえが出てき  
ます。

授業が終わってから、美  
章園の駅まで同級生と連れ  
立って、わいわい言いなが  
ら歩いたことを、昨日のよ  
うに思い浮かべます。

第9期生の方々、人生も

12期

## 12期 今年のは気候がよくなった三月に開催 もっと多くの同期生の参加者を期待します

毎年恒例の西村宅でやる12期生有志に  
よる同窓会を、今年もなんとかやしまし  
た。寒い時期より、少し暖かくなってか  
らの方が出席しやすいとのこと、3月  
にやることになりました。

今年はいろいろな事があり、集まるこ  
とを決めたのが、3月11日の一週間前。  
途切れると、集まらなくなるのではと、  
人数が少なくても集まろうと連絡をして、  
3人の欠席がありました、7人が集ま  
りました。

集まると懐かし、楽しいひと時を過  
ごせました。身近でも亡くなる人もあり、  
元気で集まれる限りは続けてゆきたいも  
のです。参加しようと思う人は、西村ま  
で連絡を。

(〇七二一九九七〇九九一 西村唯弘)

\*写真は二〇一三年二月十一日に、栢木  
先生にご出席いただいて集まった時のも  
のです。

お互い残り少なくなってきた  
ました。  
誰か、元気な方がおられ  
ましたらならば、「紅萌会」  
へでも、私の携帯へでも「0  
90-1244-844  
7」お声かけをお願いしま  
す。  
早くしてね。あまり長く  
待つてられないかも？  
(赤松 泰雄)

11期

## 11期生 最高の思い出は九州への修学旅行 11期生の同期会をぜひやりたいですね

紅萌会会報をいつも楽し  
みに読まして頂いておりま  
す。只、第11期生の記事が  
少なく、淋しい思いは残念  
でなりませんでした。

すでに鬼籍に入られた同  
期生も数人おられます。年  
賀状の交換のみで、直接集  
まって飲み会をするミニ同  
窓会は数度やりました。全  
体の同窓会には、卒業後15  
年程の昭和55年頃に一度参  
加しました。

思い出として一番思い出  
しますのは、九州への修学  
旅行のことです。夕方、弁  
天町埠頭に集合して船中泊  
で翌日別府に上陸して、熊  
本の草千里をバスの車中よ  
りみて雲仙に泊まり、西海  
橋、長崎の平和公園等をめ  
ぐったものです。

還暦を迎え、古希を過ぎ、  
喜寿を目指す73才で、未だ

(前ページよりつづく)  
た。同期生ならばこそその話  
題や思い出を共有する仲間  
が減っていくのは寂しく辛  
いが、改めて同窓生・同期  
生の冥福を祈りたい。

「前ページよりつづく」  
かりでつまらん」と考える  
人がいるかも知れないが、  
これが同期会の所以でも醍  
醐味であるかも知れない。  
案内を待つだけでなく、  
今年と同窓会総会に参加す  
ることを好機として、57年  
昔を偲び開催の足掛かりと  
したい。

(尾崎 充賢)

現役で仕事は一応頑張っ  
ております。家族に恵まれ子  
供4人、孫8人、18人のフ  
ァミリーになりました。何  
とか父親の役目を果たして  
来たことに対しては合格を  
頂けると思っています。

仕事にも恵まれ、地方よ  
り上阪して頑張っておられ  
る人達と比べて、生まれ育  
った地元で仕事ができる俸  
せを常にかけています。

戦後、モノの無い時代を  
過ごし、やっとモノが自由  
に手に入る頃の多感な16才  
(昭和36年)に天定に入学。  
昭和38年頃より、我が家にも  
TV、冷蔵庫、洗濯機など  
が入って来て、我が家で  
映画が観れるとは大感激し  
た思い出があります。

舟木一夫の唄を聞いては  
天定時代を思い出していま  
す。最近の世情の移り変り

のスピードについて行けな  
い年寄りになった思いが強  
く、この先50年〜100年先は  
どうなっていくものか？

金やモノの無かった天定  
時代は、世間知らずでも結  
構楽しかったです。クラブ  
でも卓球、野球、水泳と渡  
り歩き楽しんでいました。  
全て中途半端でしたが……  
河内の井の中の蛙が、少し  
でも世の中を見させて頂い  
た天定の4年間でした。

第11期文でも呼び掛けて  
貰って、少しでも可、同窓  
会をやり度いです。早くし  
ないと、いよいよ出席者が  
爺婆ばかりになってしま  
す。  
取り止めのない文で失礼  
しました。

(木林 清治郎)

# 14期

## 今年の14期同期会は10月14日です 2年ぶりの再会を楽しみにしています

14期生の同期会を秋に天王寺において日帰りで開催します。今回の幹事は大村様と村江様です。2年ぶりに皆様に再開できるのを楽しみにしています。ぜひご参加いただきますよう宜敷くお願いします。

(中村 棟治)

日時 10月14日(日) 13:00~16:00  
会場 パリタワー大阪天王寺  
大阪市天王寺区悲田院町8-1  
TEL 0120-1158-759  
交通 JR天王寺駅北口から徒歩3分  
地下鉄(御堂筋線・谷町線)天王寺  
および近鉄阿部野橋から徒歩数分

# 15期

## 今年は15期生の同期会を開催する年 みんなで楽しい時間を過ごしましょう!

15期生の皆さまお元気でお過ごしでしょうか? 今年は15期生のほとんどの方が、69歳になります。同期会は2年に一度行つて

います。今年はその年にあたっております。会えば食事をし、カラオケなどをしたり、昔を懐かしんだり、近況報告のようなど話を合ったりして楽しみます。15期生の方はぜひご参加ください。  
(山下 英子)

# 17期

## 老後の「子や孫との同居」は夢と消え 夫婦でせつせと楽しむ「やけくそ旅行」

僕達夫婦は定時制で出会い結婚し二人とも70歳を超えた。子供にも3人恵まれ、皆40歳を超え僕の定年退職以外は誰も勤めを変えることもなく、安定した生活を

しているようである。頭の古い僕は年老いたら子供と同居し、孫の面倒も見ながら気楽な余生をと思っていた。独身の時は子供もそれに同意していたが、

しかし、配偶者ができるとそうはいかない。世間どおりで未だに二人暮らしだ。あてにしていたこと自体厚かましかったのである。その時のためと蓄えたものも無駄になってしまった。

しかし、今はそれを使い我慢してきた旅行に二人してせつせと出ている。言わば「やけくそ旅行」で、ご紹介すると、今年正月は北

極圏のオーロラ見物に30日間。昨年正月はラオスとタイに30日間。一昨年は船で世界一周105日間と、僕達だけのガイド無し完全フリー旅行をしてきた。

話は変わるが、今頃勤めの誘いがあり、週一で名古屋まで出勤しており旅費も稼いでいる。さて来年は何処に……。  
(高見健三・真理子)

# 19期

## 沖縄返還や大阪万博開催の年代に学んだ あの頃の仲間を懐かしく思い出しています。

卒業後、半世紀近くの月日が流れ、高齢者と呼ばれる年齢になりました。日々、これが世に言う『老人力』なのかと思える身体の変化を感じています。

天高時代の思い出は臚ですが、あの出来事は夕方でした。登校し教室に入り目に入っていたのは、黒板に大きく書かれた沖縄返還という文字でした。それ以外にも何か書いてあったのかも知れませんが、思い出せません。数人の学生が、歓喜の声をあげていたような記憶があります。

1970年代はじめ、沖縄返還や大阪万博がありました。その時、私達19期生は天高の学生でした。学友個々の名前や顔は思い出せないけど、その時代にあの学び舎で、あの教室・体育館・グラウンド等の灯りのしたで、共に過ごした仲間がいたと思うと感慨深いものがあります。

同期生の情報提供の依頼もありましたが、連絡先が解りません。半世紀という時の長さを痛感しています。  
(伊名岡 百合子)

# 16期

## 笑い笑わせ サクサク頭脳で 百歳をめざそうよ

好物のお蕎麦を、三杯も隠されてしまいました。  
▲盛りそば(森友学園)  
▲掛けそば(加計学園)  
▲アベのそば(安倍首相の嫁はん・仲良し・側近等)  
今、国政は大揺れですが、この先どうなるのか? 私

の様な貧乏人は生活必需品が値下りし、年金収入だけで生き続けることが望めます。さて、同期の方々はどう暮らしておられるのか気になる所です。  
今年いただいた年賀状には……『栢木先生…ブドウ

の栽培と将棋を始めた』『上春和夫君…元気に居酒屋ひよこを営続。呑みに来いよ!!』『長野県の済藤喜治君…杖がたより、禁煙失敗、タバコプカリと元気です』『脇豊茂君…一番いけないのはドンパチ』反戦』『片山啓・

18期

## あつという間の2時間では時間不足 今回は泊りがけでゆつくり話し合いたいね

「ちょっとあんた元氣やった?」「久しぶりやわ、ちよっと老けた?」

昨年十一月十一日に四十六年ぶりの再会を得た、十九名のおじちゃんとおばちゃんの会話の始まり。会った途端、まるで二十歳の乙女と青年に戻ってしまった

みたい。笑顔にあふれ何の屈託もなく、むしろ昔より若い。同期という絆が時間をシंकロさせてくれる。2時間があつという間に消えて、顔の皺まで消えて何を聞いたんだろう、何を喋ったんだろう、あれもこれも聞きたいことが一杯な

22期

## なつかしの仲間と今一度会いたい!! とりあえず同窓会総会で語り合いましょ

んやのに、時間が欲しいって思いまでシंकロしてる。

やつぱり泊りで同期会をしよう。夢と希望を一杯持った頃を思い出して、これからの人生をもう一回スタートしよう。「ピンピンコロリ」「終活」だけが合言葉とちゃう、もう一回輝くんや。なんて発言まで飛

び出した。みんな後が少なくなつて来た実感してるというところで同期会の報告は終わらせて頂きます。さて、同期の皆さん、今回北海道・沖縄の方は二泊三日の参加でした。来年は全員宿泊の案内を送らせて

頂きます。今回参加できなかった方にも届く紅莉会会報の紙面をお借りして、ご案内させていただきます。しっかりお小遣い貯めて待つといや。

(細川 正敏)

場で責任と働き等で多忙と察します。

22期の皆さんが、今日という日を最高の一日として、残りの人生を輝かしく充実した日々であるようお祈りします。

5月の同窓会総会にて、22期で楽しい一時を語り合えればと願っています。

(木戸 商沢)

24期

## 同期生が集まって懐かしい話が見たい! 24期生の皆さん、ご連絡ください

24期生の皆さん、お元氣でしょうか。

卒業して40年になりますね。天定時代の4年間は思い出がたくさんあります。最近の4年間は、何事もなくあつという間に過ぎてしまします。(笑い)

東北の修学旅行も懐かしいですね。新大阪から夜行列車で行き、東北地方をバスで観光したのが楽しかつ

学舎を巣立って早40年が過ぎ去りました。

「智に働けば角が立つ、情に掉させば流される、意地を通せば窮屈だ、とかく人の世はすみにくい(『草枕』

冒頭)

夢と希望をもって社会の荒波に身をおきながらも、来たる21Cが住みよい社会になるのではと期待しましたが、ますますとんでもな

い世の中になってきています。

天定の4年間は、それぞれの骨格の大事な部位をなしていると思います。お一人お一人がそれぞれの持ち

た。バス車中で到着する時間を当てるゲームで、見事に時間を当てて、大きなこけしを頂きました。今も大切にしています。

自身は陸上競技に熱中してましたが、最終学年で近畿大会で優勝することが出

来ました。皆仲間が滋賀県の彦根まで来てくれて、応援してくれたのが嬉しかったなあ。

同期生で集まり、懐かしい話などしたいと思います。連絡お待ちしています。  
堀田(旧姓木谷) 佳弘

携帯メール: yoshi006@softbank.jp  
lineの場合: ID 8210968 で検索してください。

### 編集後記

▼今号の「同期会だより」には、実に19の卒業期から便りが寄せられた。これを機に同期生の輪が大きく広がれば、それに勝る喜びはない。ぜひ同期会開催に結びつけてほしいものである。▼一面では「紅萌会」が誕生した40年前を振り返って見た。誰もが心から同窓会の発展を願い、侃々諤々の熱い議論を交わした、あのほとばしるようなエネルギーを今一度期待したい。(F)



20期

村井・三上先生を囲んでの楽しいひと時  
今年も、来年もきつと逢いませうね!



昨年4月1日午後1時から、川口哲生さんと折尾正代さんに幹事役を務めていただき、天王寺バリアタワー13階の「スコール」で20期同年会を開催しました。参加者は13名、お招きに応じてくださった村井・三上両先生を囲んで、最高に楽しい時間を過ごすことができました。昼間だったので、13階からの景色を楽しみながら食べたり飲んだりしゃべったり、とても卒業から43年もたつたとは思えない若い雰囲気、たいへん盛り上がりました。両先生をはじめ、参加していただいた皆さんに心から感謝します。参加できなかった方、来年も同じ時期に開催を予定していますので、今度ぜひご参加ください。今年も4月1日に実施しましたが、5月20日の紅萌会総会でも、一人でも多くの同期生に会いたいと思っています。よろしくお願ひいたします。  
(浅井 いづみ)

33期

体育祭でダンスを踊った時のように  
今も踊れることに感謝しています

33期生の皆様、お元気ですか。卒業してから早30年になりますね。な、な、なんと——と言う感じですが、私は相変わらず病院に勤めています。2月に病院の新年会が日航ホテルであり、「南中ソーラン節」を動画

を見て覚えて踊りました。仲々振りつけが難しく、5日程夜更かしして朝が来てしまいました。スタッフに教えている際、天高時代に練習していた時の事を思い出して、30年前と同じ状態で踊れている事に感謝しました。皆様、身体に気を付けて、一日一日を大切に生きて行きますようにね。又、会える日を楽しみにしています。(松島 澄子)

27期

私たちも同期会を開催しています。  
次はあなたも参加してくださいね。



原稿が間に合わなくなりましたので、写真だけ掲載させていただきます。(山崎 恭子)

平成29年5月21日 同窓会総会后、東先生の喜寿のお祝いも兼ねて、阿倍野「アートダイニングオーバル」で2次会を楽しみました。



平成30年1月27日(土)6:30～ 近鉄針中野駅前「時代屋」で同期会を開催しました。

50期

年二回、先生方を交えてミニ同窓会を行い  
半年ごとに楽しく情報交換をしています

皆さん今日は。私は同窓会がこれほど長く続くとは思っていませんでした。現在も続けてくださっている事は、会長遠藤様また関わってください皆さんのお陰とさせていただきます。有難う御座います。

さて私、同期の皆さんとはありませんが、年二回五月奈良、十二月大阪でランチを囲んでおります。先生お二人と現在六名、八名の中、お一人の先生は海外に行かれた話などをしてくださり、もうお一人の先生は健康を大事にされていますので、なるべく徒歩であちこち行かれた時の話などをしてくださいました。

このように私達は半年間の出来事を話そうと、ミニ同窓会を始めて早十年が過ぎ去った年月を忘れ、とても楽しいミニ同窓会をしています。定時制高校へ通ったお陰で、私にとって素晴らしい友人に出会い、頑張ってきたかと思っております。  
(吉澤 弘子)

## 「紅萌会」平成 30 年度会計予算 (案)

収入	前期からの繰越残高	606,326 円
	年会費・総会参加費・寄付	480,000 円
	総会当日参加費・会費・寄付	43,600 円
	雑収	74 円
	合 計	1,130,000 円

支出	会報印刷代	250,000 円
	会報郵送料等	140,000 円
	総会経費	290,000 円
	役員会議・作業経費	20,000 円
	事務費	10,000 円
	通信費	10,000 円
	雑支出	10,000 円
	合 計	730,000 円

収入 1,130,000 円 - 支出 730,000 円 = 400,000 円  
繰越予定 400,000 円

## 「紅萌会」平成 29 年度会計決算報告

(平成 30 年 2 月 28 日現在)

収入	前期からの繰越残高	591,678 円
	年会費・総会参加費・寄付 (振込)	598,040 円
	総会当日参加費・会費・寄付	61,000 円
	雑収入	4 円
	合 計	1,250,722 円

支出	総会会報等印刷代等	230,140 円
	総会会報郵送料	135,90 円
	総会経費	239,000 円
	役員会議・作業経費	18,045 円
	事務費	10,391 円
	通信費	10,916 円
	合 計	644,396 円

収入 1,250,722 円 - 支出 644,396 円 = 606,326 円  
620,915 円は次年度予算に繰越  
繰越金の管理状況

普通預金	544,386 円
現金	61,940 円

## 紅萌会 平成 29 年度 会費・寄付者リスト (敬称略 平成 30 年 1 月 11 日現在)

## 第 63 回総会

(名前に下線のある方は総会にご出席いただいた会員)

会費納入者	168 名	166 名 (昨年度)
寄 付 者	77 名	90 名 (昨年度)
出 席 者	39 名	50 名 (昨年度)

- 【特別会員】 岡 毅、東庸太郎、三上敦史、鈴木正夫、田中幸昭、澤井 章、大迫均、菅野 正、今中敬旦、佐藤陽二、佐山和子 (11 名)
- 【1 期生】 宇野 功、高橋孝弘、牛丸 剛、中島真吉、合田好永 (5 名)
- 【2 期生】 埜村徳也、中川ヨシ子、大池俊 (3 名)
- 【3 期生】 吉田万弥、小西辰郎、小林明美、中山義雄、安田寿夫、山口淳子 (6 名)
- 【4 期生】 菅原 博、坂元正義、油谷勝次、赤川久恵、楠富士子、藤原君子 (6 名)
- 【6 期生】 寺田直三郎・友子、赤川美津子、永田満江、河野高明、梶原文明、岩崎みちよ、佐々木紀代子 (8 名)
- 【7 期生】 田辺宰至、森村不二子、古村成正、植田初世、尾崎充賢、西原一郎、庭瀬玉江、賀代 修 (8 名)
- 【8 期生】 合羽文子、浜野弘美、池本友子、武内貴夫 (4 名)
- 【9 期生】 赤松泰雄、幸野陸紀 (2 名)
- 【10 期生】 中村俊之、伊藤清美、巳本 稔、丸木金勝、金井弘子、河野和枝、塩野光子、根角伸宏、木村富士夫 (9 名)
- 【11 期生】 鳥袋征士、林清太郎、大林清治郎、長谷川三枝子 (4 名)
- 【12 期生】 西村唯弘、阿部 博、蒲原千鶴子 (3 名)
- 【13 期生】 三井郁子、喜多俊子、品川博文、北島順子、大森一雄、笠原之治 (6 名)
- 【14 期生】 中村棟二・ひろみ、木下美佐子、大江道子、吉田千鶴子、門脇千鶴、杉山可一、西田正雄、東照子、岩佐勝巳、山内ちづ子 (11 名)
- 【15 期生】 前川栄、平岡朱美、江口繁 (3 名)
- 【16 期生】 脇 豊茂、向井克信・万喜、矢田博道、川村光子、林 治夫、林美恵子、吉本摩佐子、小山由美子、吉田泰子、鳥羽健次、森本登茂子、池田祐子 (13 名)
- 【18 期生】 大西吉雄、神村順子、稲葉貞夫、中村善人、細川正敏、坂本つよみ、芳中則子、谷田和恵、清水賢二、小島悦子、仲西三枝子、井上伊津子、浦崎信子、吉田由紀子、岡崎しのぶ、中井幸子、川島英美 (17 人)
- 【19 期生】 小玉 光、山坂成司、米澤素子、伊名岡百合子、大西昭生 (5 名)
- 【20 期生】 浅井いづみ、大西久美子、牧浦晴美、池本和三、渡辺利美子 (5 名)
- 【21 期生】 井藤一夫、上村禎四朗、野田さよ子、寺本順子、福田ちどり、谷口妙子、森淑、大塚真知子 (8 名)
- 【22 期生】 遠藤清茂、木戸商沢、堀上礼子、堀内年子、木村 勝 (5 名)
- 【23 期生】 和田幸生、谷本貞子、中村一郎 (3 名)
- 【25 期生】 和田悦子、前田千代子 (2 名)
- 【26 期生】 山本眞子、北垣外かよ子、宮川正英 (3 名)
- 【27 期生】 山崎恭子、木村好和、石井真由美、瀬戸八州幸、中村順子、松本智恵、大塚柳子、石本桂子 (8 名)
- 【30 期生】 中島成和 (1 名)
- 【32 期生】 西岡 晃、蜜本静恵 (2 名)
- 【33 期生】 池崎照子 (1 名)
- 【34 期生】 森 満江 (1 名)
- 【41 期生】 岡本君子 (1 名)
- 【46 期生】 李 明玉 (1 名)
- 【47 期生】 廣澤大介 (1 名)
- 【52 期生】 東 良次、吉本 武 (2 名)
- 【54 期生】 車 喜子 (1 名)